

教科	技術・家庭	学年	1学年		
			単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ガイダンス	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活や社会に果たす役割や影響に基づいた材料と加工の概念について考えることができる。 ○ 技術の進展と環境との関係について考えることができる。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 技術が生活を向上させ、産業の発展と警鐘に影響を与えていることに気づき、技術が果たしている役割に関心を示している。 ○ 技術の進展と環境との関係に関心を示している。
木材加工による製作品の設計・製作による問題解決	19	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意欲的に製作に取り組むことができる。 ○ 材料と加工の特性等の原理・法則と、構造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解することができる。 ○ 技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。 ○ 製作に必要な図をかくことができる。 ○ 問題を見出し、課題を設定し、設計を具体化するとともに製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。 ・適切な図法を用いて、製作に必要な図をかくことができる技能を身に付けている。 ・工具や機器を使用して、安全・適切に材料取り、部品加工、組み立て・接合、仕上げができる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決策を、条件を踏まえて構想し、製作図等に表す力を身に付けている。 ・設計に基づく合理的な解決作業について考える力を身に付けている。 ・課題の解決結果や解決過程を評価、改善及び修正する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ・自らの問題解決とその過程を振り返りよりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
生活や社会を支える情報技術	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報の表現・記録・通信などの特性の原理・原則、情報のデジタル化やシステム化や情報の量を理解することができる。 ○ 情報通信ネットワークの構成を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の表現、記録、計算などの科学的な原理法則や情報のデジタル化などに関わる基礎的な技術の仕組みの知識を身に付けている。 ・ネットワークの仕組みの知識を身に付けている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
ネットワークを利用した双方向のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決	11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意欲的に制作に取り組むことができる。 ○ 安全・適切なプログラムを制作することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全適切なプログラムの制作、及びデバッグ等ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考慮することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の成長と家族・家族生活	2	○これまで成長してきた中で関わってきた人について考える	・家族や関わってきた周りの人々のおかげで成長できたことに気付いている。	・自分の成長からこれからの将来の生活について問題を見いだして課題を設定している。	・自分の成長の振り返りを通して、自分と家族の関わりについて関心をもって学習に取り組もうとしている。
衣生活と自立、衣服の選択と手入れ、和服と洋服の違い	8	○TPOの応じた適切な衣服を考えることができる。 ○衣服の表示や素材の違いによる手入れができる。 ○洋服と和服の違いを理解する。	・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
裁縫の基礎、生活を豊かにするための製作	18	○作品制作を通してまつり縫い、ミシンで直線縫い、スナップ付けなどの基礎縫いや手入れ・修復の技能を身に付けることができるようにする。	・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い製作が適切にできる。	・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
住まいの機能、安全な住まい、家族と住空間、住空間の整え方	11	○住まいの役割を理解する。 ○日本各地の住まいと特徴を理解する。 ○日本の気候風土や特性に合わせた住まいや、住まい方の特徴について考える。 ○家族と住む住空間について考える。 ○高齢者疑似体験を通して、高齢者の気持ちを考えた安全な住まいを考える。	・日本各地の住まいとその特徴について理解することができる ・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・バリアフリーとユニバーサルデザインについて理解している。	・家庭事故の防ぎ方や対策方法について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・住まいにおける災害への安全対策について考え工夫している。 ・家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・住まいに関心を持ち、住まいの役割について考えようとしている。 ・日本の気候風土や地域の特性に合わせた住まいや住まい方の工夫について、意欲的に考えようとしている。 ・家族構成や生き方や価値観をふまえて、安全・快適・環境に配慮した住まいについて考え、改善策を実践しようとしている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
環境に配慮した消費生活	1	<ul style="list-style-type: none"> ○消費生活を振り返り、環境に配慮した消費生活について考える。 ○生活を豊かにする布製品を消費生活に生かす方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した衣服の計画的な活用の必要性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した消費生活の工夫を見出し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決するための力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した生活を送るために、自分の生活のできる具体的な方法を考えようとしている。 ・エコバッグの活用法や環境に配慮した生活を送ろうとよりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
衣生活・住生活についての課題と実践	2	<ul style="list-style-type: none"> ○衣生活・住生活を通して課題を設定し、実践したことをまとめる。生活を豊かにする方法を考え実践してみた成果と課題から改善策を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの衣生活・住生活で学習した基礎内容を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活・住生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、衣生活・住生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。